

「秋田商工会議所経営発達支援計画外部評価委員会」開催報告

1. 目 的 平成28年4月22日に経済産業大臣の認定を受けて実施した経営発達支援計画に対して、実施状況及び成果について、評価・検証を行うため、外部評価委員を5名委嘱し、外部評委員会を開催した。

2. 日 時 平成30年 2月 7日（水）13：30～15：00

3. 場 所 秋田商工会議所 1階 会議室

4. 委員構成団体 秋田市商工貿易振興課、秋田県よろず支援拠点、日本政策金融公庫秋田支店国民生活事業、秋田県信用保証協会経営支援部、秋田商工会議所

5. 内 容

- (1) 委嘱状交付・出席者紹介
- (2) 経営発達支援計画外部評価委員会設置規則について
- (3) 経営発達支援計画の内容について
- (4) 平成29年度の実績見込と平成30年度の目標について

6. 委員からの実績見込等に対する意見

- ・計画にある61項目のうち33項目が達成見込みであることと、販路拡大に対する取組みとして商談成約率の高い伊達な商談会を開催し、秋田市内の事業所の新たな販路拡大の機会を創出していることから、当事業がしっかりと進められていると把握できる。また、課題についても現状を捉え、その課題解決のための取り組みを平成30年度の計画案としていることから、内容がまとまっていると思う。
- ・伊達な商談会 inAKITA の開催について、小規模事業者の負担軽減にもなっていることから、より一層推進してもらいたい。その中で、商品のブラッシュアップが必要となった際には、支援機関と連携して課題解決を図ってほしい。
- ・創業・事業承継は、秋田市の今後を考えていく上で重要な要素となることから、数値目標は勿論のこと、質的な部分の取り組みについても価値が高いものと認識している。量・質の面から実績が上がるよう支援を継続していただきたい。
- ・IT活用について、RESASを有効活用できていない小規模事業者が多いと認識しているが、国策として製作したシステムであることから、地道な啓蒙活動を進めていくことが必要だと感じる。システムが普及し活用することによって、秋田県全体として産業の活性化にも繋がると考えられるので、積極的な推進をしていただきたい。
- ・巡回件数が増加しているという結果だけでなく、その巡回の中で対応している内容にも深みがあり他の成果や指標があると思うので、そのような要素も見える化すると良いと感じた。

以上